

# 高松広域都市圏パーソントリップ調査の概要

## はじめに

高松広域都市圏では平成 24 年 10 月から 11 月にかけて第 3 回高松広域都市圏パーソントリップ調査(交通実態調査)を実施しました。高松広域都市圏では昭和 49 年、平成元年にパーソントリップ調査を実施しており、今回の調査は 3 回目となります。

この資料は、交通実態調査の結果から明らかになった、高松広域都市圏の人の動きの概要をとりまとめたものです。

## パーソントリップ調査とは

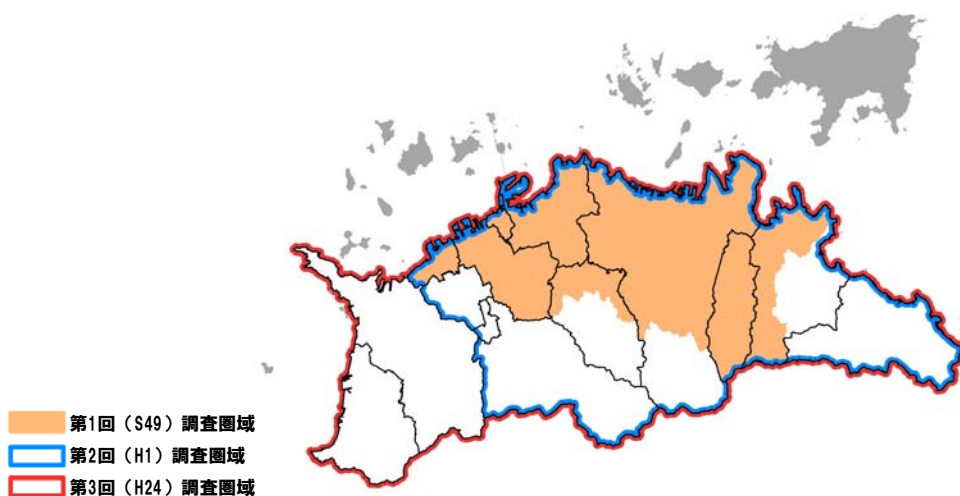
(パーソン(Person)=人、トリップ(Trip)=動き 略して PT 調査)

「いつ」「どこから」「どこまで」「どのような人が」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」動いたのかについて調査し、人の 1 日のすべての動きをとらえるものです。

調査結果は、高松広域都市圏における様々な交通計画を検討するための基礎的なデータとして用いられます。

## 調査対象地域

通勤や通学の範囲や、地域間の結びつきを整理した結果に基づき、島嶼部を除く香川県全域(8 市 6 町)としました。



## 調査の対象とした人

調査対象地域の 5 才以上の居住者(約 93 万人)から約 31 万人(約 13 万世帯)を抽出し、調査の対象としました。

## 調査方法

平成 24 年 10 月 8 日より、調査対象世帯へ調査票を送付し、指定させていただいた調査日 1 日の動きを記入していただいた調査票を、香川県都市計画課まで郵送していただく方法で実施しました。

調査票の送付は、10 月 8 日、15 日、29 日、11 月 8 日の 4 回に分けて実施しました。

# 高松広域都市圏パーソントリップ調査結果<速報値>の報告

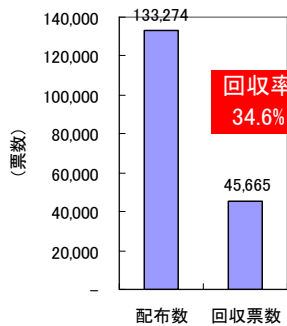
## 1.調査票の回収状況

### ■回収状況

- 都市圏全体の配布世帯数 133,274 世帯に対して、回収世帯数は 46,117 世帯となりました。
- 回収率は 34.6%となり、目標回収率 25%を大きく上回る票数を取得できました。
- ご協力ありがとうございました。

#### [都市圏計]

都市圏全体での配布・回収状況  
(世帯)



#### [市町別]

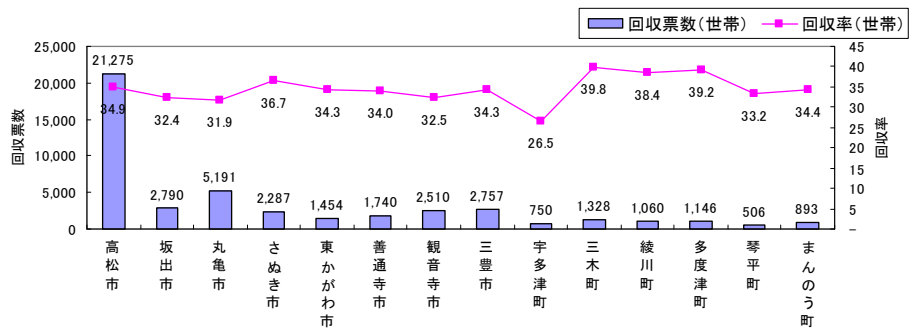


図 回収票数(世帯ベース)

### ■web での回収状況

- 調査の回収方法は、郵送回収と、web 回収の 2 通りの方法で実施し、高松広域都市圏では、近年に実施された京阪神都市圏(大阪府・京都府・兵庫県など)や東京都市圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県など)と比較して、web 回収率が非常に高い傾向となりました。
- ※web 回収とは、香川県都市計画課 HP 内に設置したインターネットを活用したアンケートフォームによる回収方法のことです。

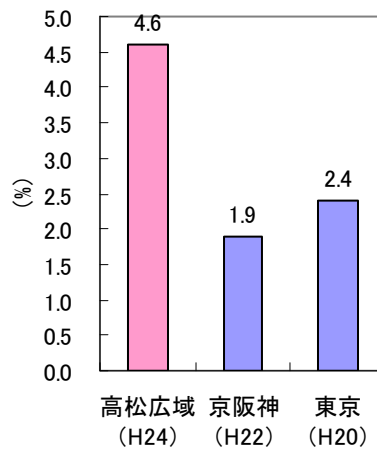


図 Web 回収率に関する他都市圏との比較

## 2.調査結果の概要報告

### 2.1 都市交通の変化の動向

#### ■居住人口とトリップ数の推移

- 前回調査(H1)から今回調査(H24)にかけて、人口は微増であります、年齢階層別では 65 歳以上の高齢者層の割合が 1.7 倍に増加しています。
- トリップ数としては、都市圏全体では低下しているものの、高齢者層のトリップ数増加傾向は著しい状況となっています。
- 交通手段分担率としては、すべての年齢階層で自動車の分担率が増加し、徒歩、二輪車が大幅に減少しています。

※トリップ: 人がある目的をもってある地点からある地点へ移動する単位のことを示し、移動の目的が変わるごとに1つのトリップと数えます。

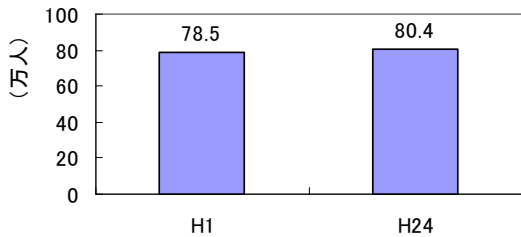


図 都市圏人口の比較

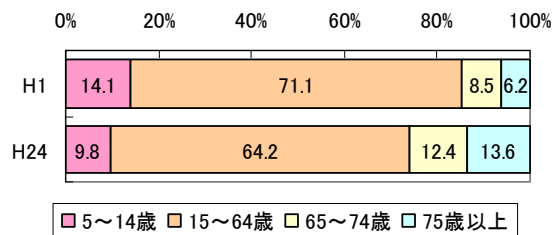


図 年齢階層比率の比較

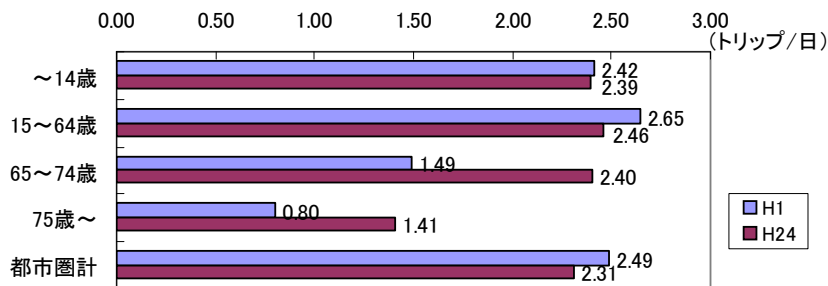


図 年齢階層別トリップ数の変化

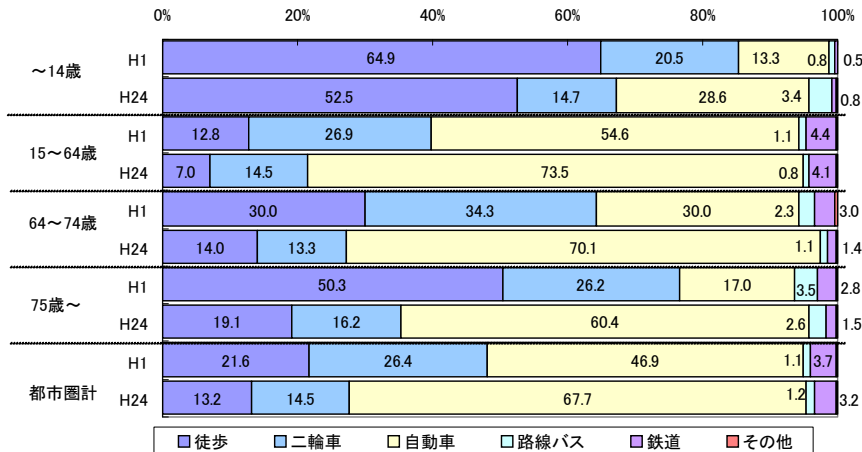
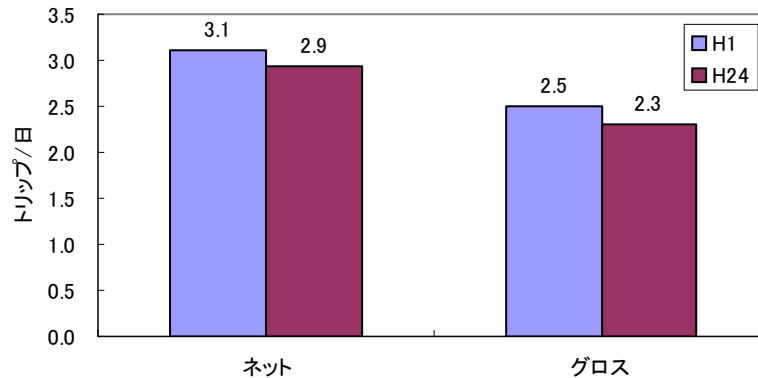


図 年齢構成別交通手段分担率の変化

## ■1人あたりのトリップ数の推移

- 前回(平成元年)がネット3.1トリップ/日、グロス2.5トリップ/日に対して、平成24年度調査ではネット2.9トリップ/日、グロス2.3トリップ/日と減少しています。



※ネットは外出人口1人あたりのトリップ数、グロスは夜間人口1人あたりのトリップ数です。

図 平均トリップ数の推移

## ■トリップの目的割合の変化

- 目的別トリップ数については、私用目的が増加し、通勤や通学、業務目的の割合が減少しています。

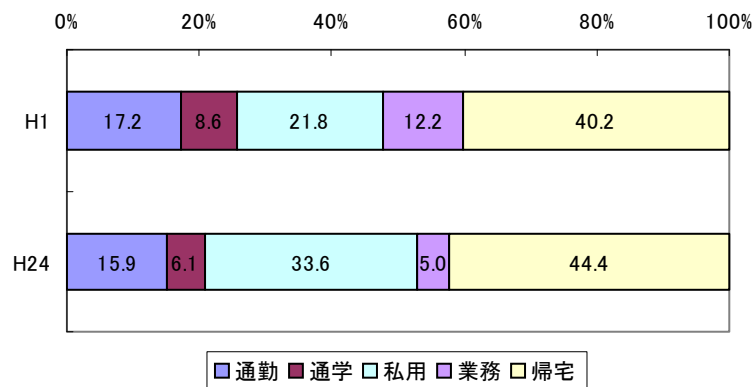


図 トリップの目的割合の変化

## ■性別平均トリップ数の変化

- 男性は前回よりも低くなっているが、女性は前回よりも高くなっています。
- これは、女性の免許保有率の向上、社会進出などが要因と考えられます。

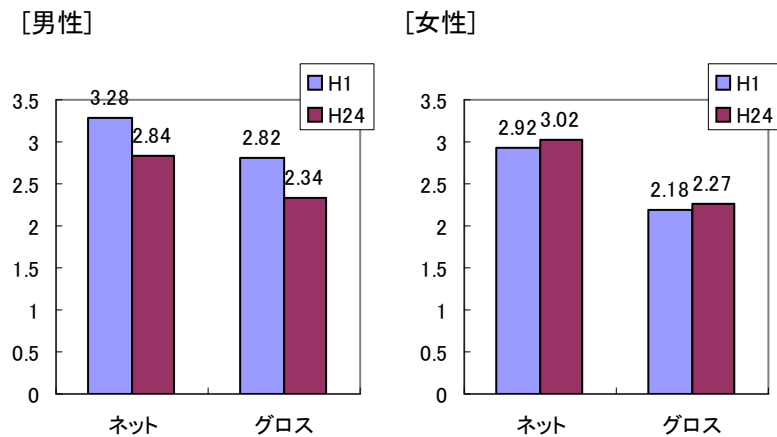


図 性別平均トリップ数の変化

## 2.2 自動車利用の進展

### ■性別年齢階層別免許保有率の変化

- 前回(平成元年)と比較して、免許保有率が高くなっており、特に、女性および高齢者の上昇が著しい状況となっています。

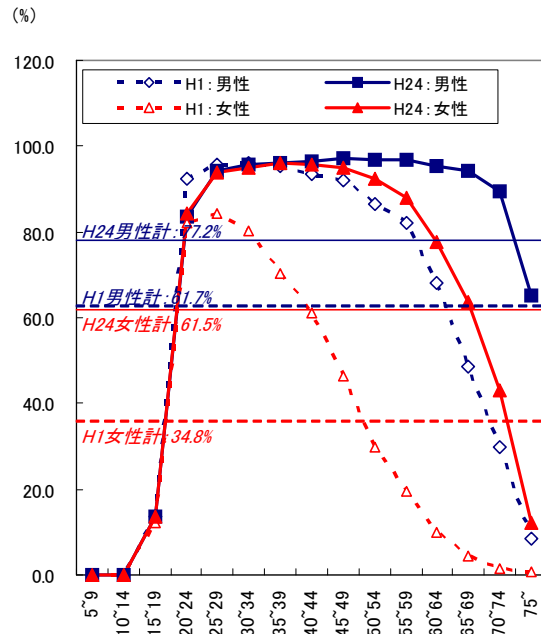


図 性別年齢階層別免許保有率の変化

### ■性別年齢階層別交通手段分担率

- 免許保有率の上昇に伴い、高齢者および女性について、二輪車・徒歩の分担率が低下し、自動車分担率が著しく高くなっています。

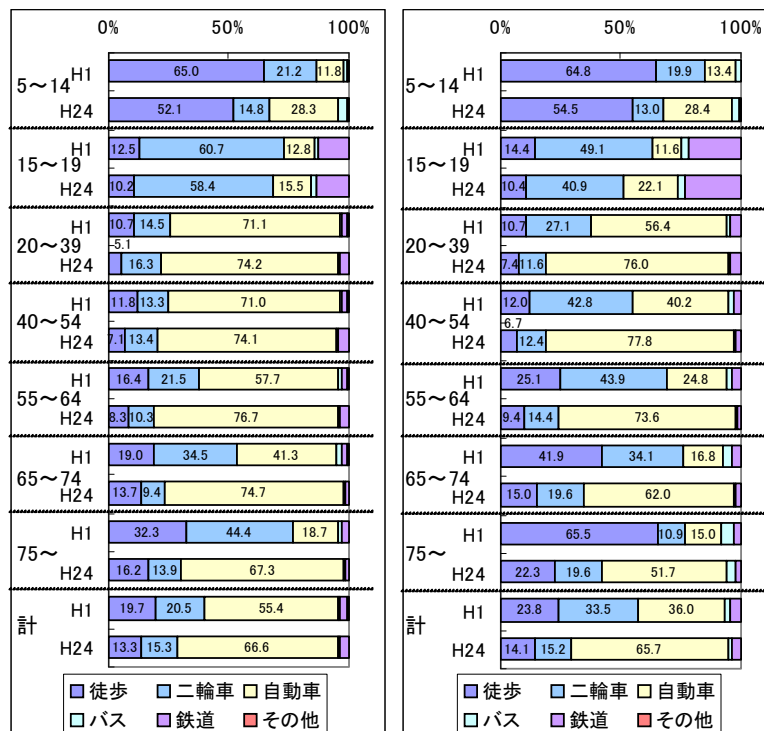


図 性別年齢階層別交通手段分担率

## ■自動車トリップ数の推移

- 都市圏内の自動車トリップ数は平成元年に対して約 1.6 倍に増加しています。
- 自動車利用時の移動距離の分布をみると、5km 未満の移動が 57%となっており、比較的短距離での移動に用いられています。

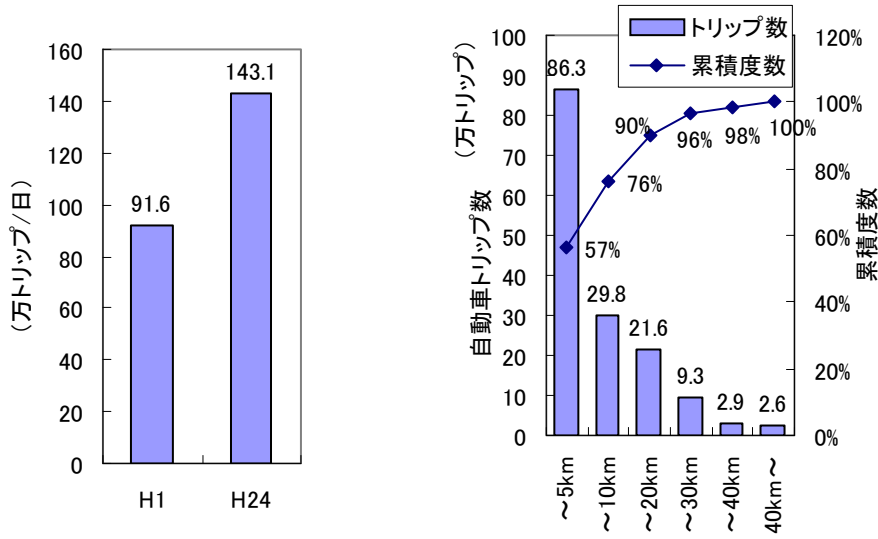


図 自動車トリップ数の推移

図 自動車に関するトリップ長分布

## 2.3 公共交通に対する評価

### ■公共交通の利用状況

- 公共交通の利用頻度は低く、特に、路線バス、船舶に関しては9割以上の方が、「ほとんど利用していない」という状況となっています。

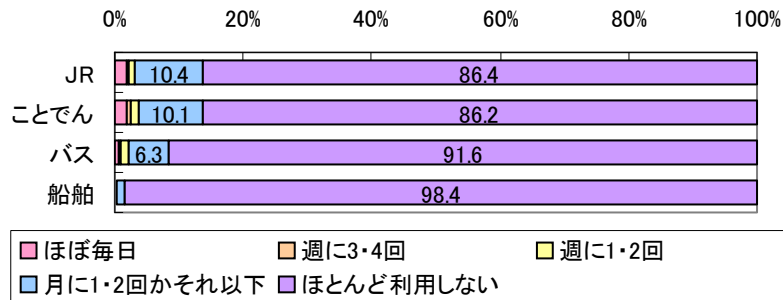


図 公共交通の利用頻度

### ■公共交通に関する満足度

- 公共交通に関する満足度をみると、利用運賃や運行本数等に関する不満割合が高い状況となっています。

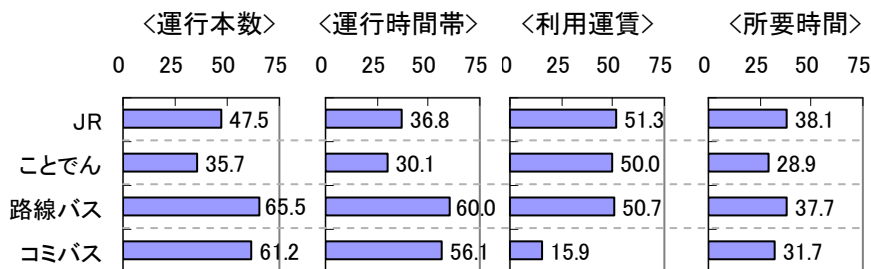


図 公共交通に関する満足度(「やや不満+不満」の割合)

## 2.4 高齢者・移動困難者の移動の実態

### ■高齢者の外出率の推移

- 都市圏全体での外出率はやや低下しているものの、高齢者層の外出率は著しく増加しています。

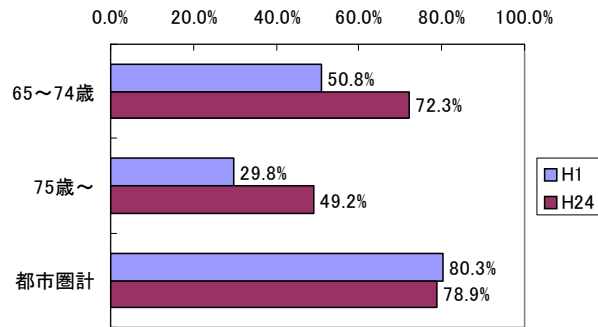


図 年齢階層別外出率

### ■高齢者の交通手段分担率の推移

- 高齢者の交通手段分担率は、外出率の増加に伴い、自動車の分担率が増加しています。

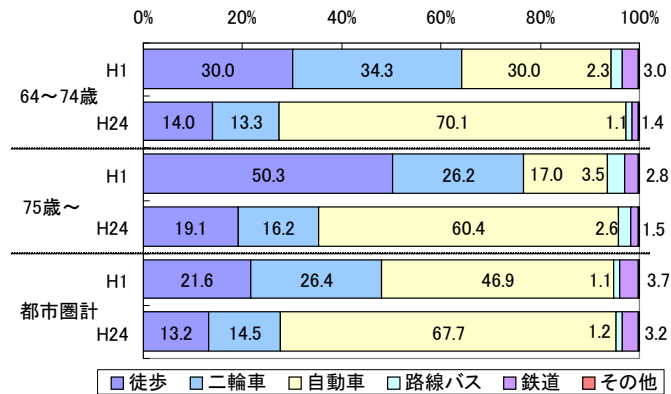


図 年齢階層別交通手段分担率

### ■移動困難状況による外出率の違い

- 外出には介助を必要とするなどの「移動困難者」の割合は8%となっています。
- 外出率は、困難なしの方が83%に対して、困難ありの方は41.8%と低くなっています。

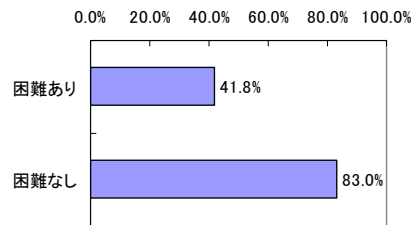
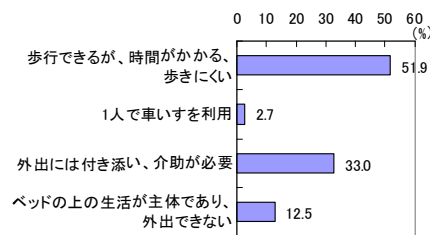
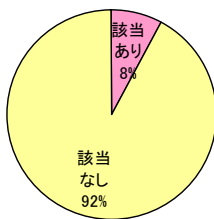


図 外出に関しての困難の有無

図 困難状況の内訳

図 困難有無別外出状況

## 3. 今後の取組について

- 今後は、調査結果について詳細な分析を実施し、集約型都市構造の実現に向けた香川県総合都市交通計画『都市・交通の総合戦略』を策定する予定です。